



創刊 平成22年4月15日発行

東関東生コン協同組合  
〒120-0036  
東京都足立区千住仲町19番8号太陽生命ビル  
電話番号(03)3879-5141  
発行責任者 戸島 伸一

～ 協組スケジュール ～

- 1月18日(水) 執行部会・常任理事会  
品質監査部会
- 19日(木) 営業全体会議
- 25日(水) 執行部会・常任理事会  
理事会
- 2月1日(水) 執行部会・常任理事会
- 8日(水) 執行部会・常任理事会  
技術部会
- 9日(木) 営業全体会議
- 15日(水) 執行部会・常任理事会
- 22日(水) 執行部会・常任理事会  
理事会
- 3月1日(水) 執行部会・常任理事会
- 8日(水) 執行部会・常任理事会  
技術常任部会
- 9日(木) 営業全体会議
- 15日(水) 執行部会・常任理事会
- 22日(水) 執行部会・常任理事会  
理事会

最重要課題として  
『生活を守る適正価格の確保』  
を目指し邁進



理事長 岡田 明



皆様、新年明けましておめでとうございます。

平成29年酉(とり)年、新年にあたり皆様方のご健勝を心よりお祈り申し上げます。

日頃は、東関東協組の共販活動にご協力を頂き、誠に有難ございます。

昨年は世界でも日本でも政治的に大きな動きが見られた一年でした。6月にはイギリスの国民投票によるEU離脱、7月には東京都の小池都知事誕生、11月にはアメリカのトランプ大統領選出等々、既存権力の意向が通らずに敗れてしまうという事態が続きました。

生コン業界でも想定外に需要の落込みが厳しい状態となっており、「丙申(ひのえさる)は革命の年である」との言い伝えを文字どおり示した一年でした。

平成29年は酉年です。「酉」という言葉は、「取り込む」に繋がると言われ、そこから運気で仕事を取り込むというものです。

東関東協組も常任理事会と理事が一丸となり、鳥(トリ)のごとく羽ばたく一年となるよう努力して参りたいと思います。

さて、生コンの需給関係ですが、平成28年度出荷数量は年初想定64万m<sup>3</sup>(上期32万m<sup>3</sup>、下期32万m<sup>3</sup>)に対して、上期実績は29.1万m<sup>3</sup>(想定比91%、前年比99%)となりました。

下期については、想定比・前年比とも大きく割り込むすべり出だしとなっておりますが、平成28年度出荷見通しとしては、前年度出荷数量に見合う程度と考えております。

次に東関東生コン協同組合が取り組む平成29年の課題です。

最重要課題事項は従来に引き続き「生活を守る適正価格の確保」としました。また、課題事項として5項目を掲げました。

平成28年は、営業委員長を中心として市況対策を進め、代表販売店との個別打合せの実施や大口顧客ゼネコンへの定期往訪を行い、協組方針の理解を得るように取り組んで参りました。

組合員各社の工場コストにおいては、人件費や電力及び輸送費の原価アップに加えて、工場設備に適正なメンテナンスを行なう費用も嵩んでおります。また、骨材業界からはダンプの老朽化や運転手の高齢化等を理由とする値上げ要請を再三受けている状況です。

東関東協組に隣接する複数の協同組合では、既に生コン事業の継続性を確保するための価格値上げを発表したり、実施をしております。当協組としましても、引続き各工場において経費の見直しな

平成29年 理事長方針

最重要課題

生活を守る適正価格の確保

課題事項

1. 安心・安全を守る高品質の達成
2. 登録販売店との目的意識の共有とコミュニケーションの深耕
3. 従来の枠組みにしばられない新しい価値観の創造
4. コンプライアンスの徹底
5. 組合ルールへの順守



どのコストダウンに努めていく所存ですが、生活を守る観点から改めて値上げを検討せざるを得ない局面も想定しております。

営業委員会をサポートする小委員会の活動も積極的に行っており、営業委員会の下部組織として活字対策小委員会を新設し、価格動向の迅速な反映を目指して積算関係諸機関やマスコミへの対策を行って参りました。

皆様方のお力添えも賜り、平成28年11月発刊の「建設物価12月号」において1年6か月ぶりに200円の表示改訂を成し遂げ、11,200円になりました。これに満足することなく、今後も表示価格アップに取り組んで参りたいと思います。

技術委員会では、顧客に対する品質面での信頼を維持するため、品質向上対策に熱心に取り組んで参りました。従来から実施している工場長会議や技術部会の定期開催に加えて、「バッチャープラントのトラブル対策に関する講習会」や重点顧客、重点現場に対する「品質情報連絡会」を定期開催いたしました。

資材対策委員会では、昨年9月に栃木砕石工業協同組合と当協組のトップ同士による意見交換会を開催し、生コン骨材供給に関わる輸送問題・人材不足問題など多面的な視点で意見交換を行なう事が出来ました。また、併せて砕石鉱山の見学会も実施致しました。

総務委員会では生コン保険ワーキングを新設しました。従来からの商品瑕疵保証基金に生コン保険を組み合わせる事で、東関東協組瑕疵保証対策がより一層充実する事を図る狙いとしております。

長年の懸案でありました戻りコンについては、10月1日より有償化制度がスタートしました。引き続き持ち帰り品(残コン・戻りコン)の発生抑制に理解を求めていると考えております。

只今申し上げました諸々の対策は、登録販売店の皆様方のご支援とご協力なしには、成し遂げられません。

今後も施工業界及び登録販売店の皆様方とのコミュニケーションをより強くして、東関東協組の運営に当たっていきたくと考えております。本年一年の皆様方のご支援をお願い申し上げます。

以上

《理事紹介リレー》

「師走」

アサノコンクリート 株式会社  
代表取締役社長 神長俊樹



新年明けましておめでとうございます！アサノコンクリートの神長です。理事に就任し、早1年半が過ぎ、遂に私にも機関紙“きずな”に掲載されている「理事紹介リレー」原稿の御鉢が回ってきた。1月発行と言うと事で、新年に相応しい挨拶でも書こうかと思いつつ、この原稿を書く時点は、米国大統領選挙前と新年にはほど遠く、題材も浮かばず「時節がら」を、掲載した事ご容赦願う。

12月と言えば、旧暦今では新暦でも使う「師走」と呼ばれ、毎年この時期になると、“今年も、早や12月か”とか、“また1年、歳を取るのか”など、寂しさや溜息をつく人が多いと察するところである。旧暦では、1月の「睦月」から始まり、12月の「師走」で終わる。

さて、この「師走」(しわす、しはす)という言葉の語源は、どこから来たのか？以前、新聞の片隅にあった記事を思い出す。語源に関する諸説は色々あるが、はっきりしないのが事実のようである。誰もが、最初に覚える旧暦の別称でもある「師走」の語源が、はっきりしないとは聊か不思議である。諸説の中の一つとして、お坊さん・先生などこの時期に普段と違い、慌ただしく走り回る時節を例えたと言う説がある。(諸説の中で、一番簡単で分かり易い説であるが、興味のある方は調べてみてください。) この「師」と呼ばれる職業には、医師・教師・牧師・はたまた漫才師などがあり、「師」とはとにかく師匠の事である。

一方、「士」と呼ばれる職業には、弁護士、保育士、消防士、コンクリート技士などがある。また、保育士とは書くが、看護師は看護婦・看護士(男性)の呼び名の統一から正式となり、現在では看護師とは書かない。僅かな五感の違いだが、「士」より「師」の方が、どこか高級で格上を感じる。ちょっと調べてみると、「師」とは知識・経験を積み、人々を導く職業、「士」は専門的な技術・知識を有する職業と、大まかに分類される。しかし、よくよく調べて行くと、はっきりわからなくなる。因に、「師」には詐欺師・ペテン師などもある。とは言え、漢字一字の違いで人間の中身まで決まるわけではない。大事なものは、名前や肩書でなく、その人の仕事に臨む真摯な姿勢であろう。尊敬の念を抱き、真摯な姿勢に学びたい本物のプロは、どんな世界にもいると思っている。勿論、コンクリート業界にも！私もプロは別として真摯な姿勢を、常に心掛けたと思っている。「師走」の話から、なぜ「師」と「士」の話に展開したかと言うと、過去に、ある社内試験の論文に「上司」と書くところ「上師」と書き、後に当時の上司から漢字力の無能さを悟られ、試験に落ちた事を今でも記憶している。しかし、「師」でも間違えてはいないと悔しく思っている。

最後に、新年が皆様にとって実り多い年であることを願います。

参考: 1月「睦月」 2月「如月」 3月「弥生」 4月「卯月」 5月「皐月」 6月「水無月」  
7月「文月」 8月「葉月」 9月「長月」 10月「神無月」 11月「霜月」 12月「師走」

以上

8年目は『希 (のぞみ)』



本年の一字は「絆」から始まり、更なる絆、礎、結、輪、集、和と続く恒例行事となりました。8年目は『希(のぞみ)』と致しました。

「希」という文字には大きく分けると二つの意味があります。1つは、“めったにない・まれ”という意味です。もう1つは、“のぞむ・こいねがう”という意味です。

「希」の文字は人名としても安定した人気があり、男女問わず前向きに希望を持って生きていって欲しいと願って命名される事が多いようです。東海道新幹線でも最速特急には、ひらがなで“のぞみ”と名付けられております。

本年が希望に満ちた一年であることを願い決定しました。

(岡田 明)

平成 28 年度実績及び需要想定

単位(m<sup>3</sup>・%)

月	27年度 実績	前年 実績比	28年度 想定	28年度 実績	前年 実績比	想定比
4	53,222.05	88.96	51,000	44,230.80	83.11	86.73
5	45,709.20	74.61	51,000	39,010.20	85.34	76.49
6	52,593.65	83.66	57,000	56,610.60	107.64	99.32
7	50,234.45	71.40	59,000	65,479.95	130.35	110.98
8	38,433.50	78.82	46,000	44,145.95	114.86	95.97
9	52,991.70	88.31	56,000	41,735.35	78.76	74.53
上期合計	293,184.55	80.75	320,000	291,212.85	99.33	91.00
10	68,463.95	120.25	65,000	43,096.20	62.95	66.30
11	58,993.05	131.64	60,000	45,964.35	77.91	76.61
12	53,819.25	100.64	52,000	43,798.75	81.38	84.23
1	44,627.30	91.97	44,000			
2	40,055.20	75.86	47,000			
3	47,505.90	101.03	52,000			
下期合計	313,464.65	103.26	320,000	132,859.30		
年度計	606,649.20	91.00	640,000	424,072.15	89.38	85.33

《ぶらり東関東》

北千住飲食店紹介 (No.3)



寒くなるとやはり“鍋でしょ〜”という事で、北千住飲食店紹介No.3は『秋田料理 まさき』にお邪魔させて頂きました。

秋田料理といえばまず思い出すのは、やはり王道の「きりたんぼ鍋」という事で、さっそく用意してもらいました。醤油ベース、比内地鶏の出汁が効いていてその出汁がきりたんぼに良く絡まりすぎ美味い!! お店で1本1本手でこねているとの事で、久しぶりに美味しい本場らしいきりたんぼを味わう事ができました。その他なかなか見る事もなくもちろん食べる事のない「比内地鶏の焼き鳥」や今が旬の「ハタハタ(鯛) ぶりこ」などを味わうことができました。

今回、旬ではなく食べられなかった「秋田生産日本一のじゅんさい」や「いぶりがっこ」も気になる所です。また、飲み物も紹介出来なかった秋田の銘酒も多数揃えてあります。

秋田料理一本で40年余り営業しているという事は、料理が美味しく常連さんに信頼されているんだなあと思いました。

北千住に来た時は、ぜひ足を運んでみてはいかがでしょうか？



(撮影協力:秋田料理 まさき)

住 所 : 足立区千住2-43 若ビル 2F  
(千住 ほんちょう商店街通り)  
電 話 : 03-3882-3408  
営 業 時 間 : 月~金 ランチ 11:00~13:30 (L.O.13:30)  
月~土 デイナー 17:00~22:30  
(L.O.21:45 ドリンクL.O.22:00)  
定 休 日 : 日曜、祭日